

山形県立寒河江工業高等学校改築整備事業の実施方針（案）等について

令和元年9月5日
山形県教育庁

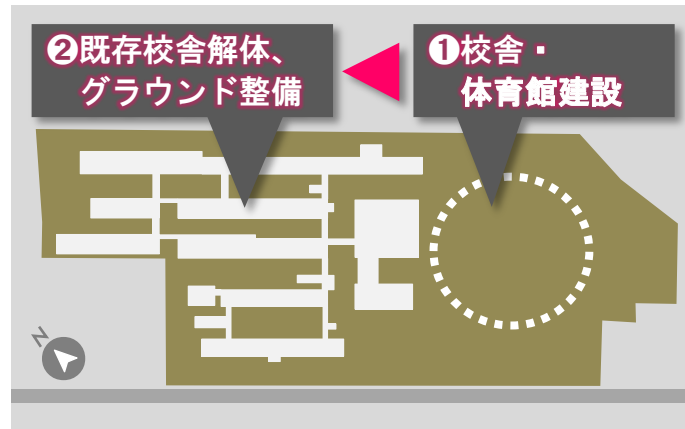
本事業をPFI手法で進めるに当たり、民間事業者の参入のための検討を容易にし、的確かつ確実な実施を図るため、実施方針（案）及び要求水準書（案）を公表します。（詳細は、実施方針（案）及び要求水準書（案）により御確認ください。また、内容は変更する場合があります。）

実施方針（案）及び要求水準書（案）の概要

1 事業の概要

[1] 事業の背景と目的

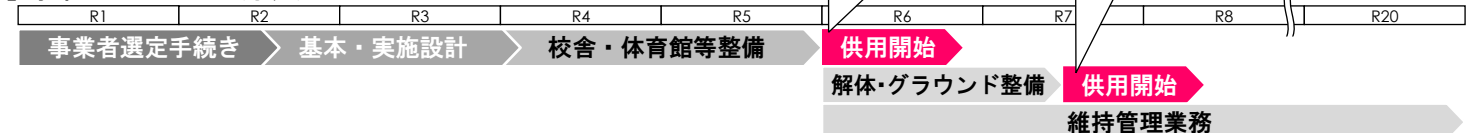
寒河江工業高校の老朽化が進行し、一部耐震改修が困難な建物もあることから、現有敷地内における施設の全面改築整備を行う



[2] PFI手法により県が事業者特に期待すること

- ①工業教育の場にふさわしい最新技術や変化に対応し得る施設環境の整備
 - ICT等の最新技術や教育内容の変化に柔軟に対応できる施設
- ②地域と密着した「ものづくり教育」を推進するための施設環境の整備
 - 地元企業や地域との連携・交流を重視した施設
- ③周辺環境に調和し、地域のシンボルとなる「人にやさしい学校」の整備
 - 安全安心の確保、内装木質化や景観に配慮した親しまれる施設
- ④再生可能エネルギーの活用
 - 太陽光や木質ペレット等の民間ノウハウを活かした効率的活用
- ⑤ライフサイクルコストの縮減
- ⑥本校の教育との連携及び教育への貢献

[5] 事業スケジュール（予定）



[3] 事業方式

事業契約に従い、事業者が設計及び建設を行い、県に所有権を移転後、令和20年度末まで維持管理業務を行う方式（＝BTO方式）

[4] 事業の対象範囲

- ①設計業務（基本設計・実施設計 等）
- ②建設・工事監理業務（建設工事、一般/産振備品調達・設置、解体工事 等）
- ③維持管理業務（保守管理、環境衛生・定期清掃、保安警備、修繕 等）

2 事業者の募集及び選定

[1] 事業者の選定方法

・総合評価一般競争入札（事業計画の提案を行う入札参加者を公募し、価格に加え、事業者の能力や創意工夫等を総合的に評価して落札者を決定する）

[2] 入札参加者の資格

- ・入札参加者は複数企業で構成する入札参加グループとする
- ・メンバーの担当する業務ごとに必要な技術要件や実績要件を設定

[3] 提案の審査

・学識経験者を含む事業者選定審査委員会を設置し、落札者決定基準の検討や提案の審査を行う

[4] SPCの設立

・事業者を選定された入札参加者はSPC（特別目的会社）を設立し、県と事業契約を締結する

[5] 募集及び選定スケジュール（予定）



3 施設整備の概要

[1] 事業予定地

山形県寒河江市緑町地内（敷地面積：44,547.33㎡）

[2] 学科構成・定員の予定

設置学科 機械科、電子機械科、情報技術科（1学科40名）
定員 1学年あたり120名

[3] 主な施設要件等

エリア	各諸室・整備内容等
新校舎 (9,300㎡程度) 3階建以内	教室 普通教室（9室）、多目的室（3室）
	特別教室 各実験室・実習室、大視聴覚室、図書室、ものづくり工房※ 等
	管理諸室 校長室、職員室、事務室、保健室、カウンセリング室 等
産振教室	機械科/電子機械科/情報技術科 ICT室等、各種実習室 備品：マシニングセンタ、FA制御システム、レーザー加工機 等
新体育館 (3,050㎡程度)	アリーナ、ステージ、柔道場、剣道場、トレーニング室 等
新グラウンド	トラック、直走路、各種競技スペース、防球ネット 等
弓道場及び合宿所	（既存建物の劣化箇所の改修）
外構	駐車場、駐輪場 等

※ 各科のものづくり活動に使用するため、シャッター出入り口を備えた作業スペース（寒河江まつり「みこしの祭典」に参加するみこしの修理・展示スペースとしても使用）

- （設計要件）
- 効率的な学校運営に配慮した動線・配置計画
 - 安全性とセキュリティの確保
 - ランニングコストの抑制や環境保全への配慮 等